

## H34a Ashra 本観測へ向けて

佐々木真人、会田勇一、青木利文、浅岡陽一、奥村暁、上橋雅志、野田浩司、増田正孝、眞子直弘、(東大宇宙線研)、木村孝之(茨城大学)、杉山直(国立天文台)、新井康夫、家入正治(高エネ研素核)小川了、森元祐介、(東邦大学)、長南勉、安田雅弘、渡邊靖志(東工大)、G.Guillian,S.Dye,J.Learned、松野茂信、S.Olsen(ハワイ大マノア校)、J.Hamilton、R.Fox(ハワイ大ヒロ校)、W.Hou、Y.Hsiung、M.Wang(台湾大)、M.Huang(台湾総合大)、他 Ashra 共同研究者

Ashra は広視野高精度光学系と光電撮像パイプライントリガーからなる新たな検出器を用いた、空気シャワー大気発光と星光の全天観測計画である。設計開発後、ハワイ州マウイ島ハレアカラ山頂での1年にわたる試験観測を経て、本観測サイトであるハワイ島マウナロア山での検出器建設が行われつつある。試験観測にて、数例のガンマ線バースト同時閃光観測と、かに星雲等からの TeV ガンマ線観測に成功した。本観測サイトにおける建設後、光学調整を行い、ガンマ線バースト、軟ガンマ線リピータ、超新星等の全天光学観測をまず遂行する。さらに、試験観測にて性能確認された光電撮像パイプライントリガーの配備を進め、順次、空気シャワー全天観測を立ち上げていく。

本講演では、それら試験観測の実績から本観測へ向けた準備状況について総括的に報告する。